# 図書館だより

## 9月図書館カレンダー

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| 27 | 28 | 29 | 30 | | | |

○印　休館日
月曜日・祝日(15日・23日)
月末館内整理日（30日）

## 今月の新刊図書案内

### 一般図書

古文書の補修と取り扱い　中藤靖之
こころが楽になる人間関係のヒント　大野　裕
日本仏教十三宗ここが違う　大法輪閣編集部
「浪人精神」で克つ！　童門冬二
紋章が語るヨーロッパ史　浜本隆志
笹川良一研究　佐藤誠三郎
マリー・アントワネットの生涯　藤本ひとみ
逆耳の言　石川九楊
文明の衝突　サミュエル・ハンチントン
日本経済「混沌」からの出発　中谷　巌
事典あなたは大丈夫ですか　相続税から自宅を守る法　野本康明
夫が職を失ったとき　亀山早苗
「キレる」前に気づいてよ　富田富士也
幽霊はなぜ出るか　石井　明
クジラ・イルカ大百科　水口博也
不安でたまらない人たちへ　ジェフリー・M・シュウォーツ
死の病原体プリオン　リチャード・ローズ
「温もり」の選択　赤池　学
必ず役立つ間取り500集　ニューハウス出版
わたしが選んだ高齢出産　石川恵美子
穀物をもっと楽しもう　林　弘子
中国茶入門　菊地和男
塩の本　柴田書店
私だけがいえる　簡単すぎる名画鑑賞術　西岡文彦
やきものをつくる　ロクロを極める基礎編　吉武和美
笑うふたり　高田文夫
知っておきたい　女性のための安心登山術　福島功夫
キャンプ&アウトドアクッキング　井上ひさしと141人の仲間たちの作文教室　井上ひさし
こう言えば英語で　しっかり説得できる　イーオン語学教育研究所
短歌入門　島田修三
みだれ髪チョコレート語訳　俵　万智
王たちの行進　落合信彦
幻の女　香納諒一
天使の囁り　貴志祐介
蘭の影　高樹のぶ子
幕末浪漫剣　鳥羽　亮
リミット　野沢　尚
雪が降る　藤原伊織
突撃三角ベース団　椎名　誠

### 児童図書

おもしろ学校ごっこ全三巻　外二三四冊
世界のおまつり
ひとしずくの水
飼育大図鑑
セイリの味方スーパームーン
うちでもできるかな　小犬の飼育ボランティア
わくわくドールハウス
ぽってんどりとぴよどり
かわむらまさこのあつい日々　外九五冊

---

市立図書館　今月の一冊

## 『ちょっとまって』

岸田今日子 さく
佐野　洋子 え
福音館書店 刊

今日は、こねずみのシマ君の誕生日。シマ君はお母さんにお使いを頼まれました。しかし、シマ君はとても忘れんぼうなのです。岸田今日子が幼い日の娘に語ったほのぼのとしたお話が楽しい絵本になりました。

## 『カブキの日』

小林恭二 著　講談社

日本一の大劇場「世界座」の迷宮をめぐる、美少女・蕪(かぶ)の時空を超えた旅が始まった。今日運命の舞台に、奇跡が生まれる…。第11回三島由紀夫賞を受賞。

---

心の健康シリーズ（65）

## 幼児期にしっかり育ててほしいこと

今、青少年の非行が社会的問題となっていますが、その要因は幼児期からの子育てにあるといわれ、育児が重視されています。

医学書によりますと人間の脳の発達は、生まれたばかりの赤ちゃんの脳は四〇〇グラムほどですが、生後六カ月で二倍近くに成長し、三歳までには成人の三分の二になり、七・八歳では大人の大きさの九十五％に達し、二十五歳位で完成されるといわれています。

それに伴って子どもの情緒も三歳ごろまでに、大人に見られる感情の基礎が一通り備わってきます。そして、小学校へ入学する六歳ごろまでに大人と変わらない位までに出来上がるといわれます。

ですから、幼児期の育児がいかに大切であるかということです。

そこで、この幼児期に家庭で特に次のような事柄について、しっかり育て、身につけて欲しいのです。

① 親は、盲目的愛情でなく、人間愛をもって親子の信頼関係をしっかり育てる。

② 基本的な生活習慣を身につけさせる。（食事、睡眠、排尿排便、衣服の着脱など）

③ 思いやりの心（礼儀）、耐える心を育てる。

警視庁が昭和五十六年に「家庭の躾(しつけ)と非行要因」に関する研究結果を発表していますが、それによりますと非行を働いた少年たちは、一般の少年と比べて、幼児期に食事時間がバラバラであったり、物を欲しがると親がすぐ与えて、我慢する訓練ができていなかったりなど、生活習慣の基礎が身についていないといっています。

その前年には、都立教育研究所が四年間実施した「思春期の行動と幼児期との関連」という研究を発表していますが、それによりますと「思春期の問題行動の形成には、幼児期からの自己表現の乏しいこと、耐性の乏しいことが関連している」と結論しています。

ですから、生活の規範を身につけさせ、自己統制力を育てることが大切です。つまり、我慢する力をつけることが必要なのです。

子どもの躾は、その内容によって、それぞれに適切な時期がありますが、脳の発達から見て耐性やその他の躾は、十歳ごろまでといわれています。昔から「三つ子の魂百までも」といわれています。

基本的生活習慣の躾も中学生になってからでは、手遅れです。

躾は子どもが小さいほど躾やすく身につきやすいのです。

子どもの悩みごとは
教育相談室へ
（八朔祭屋台展示庫前）
月～金　午前9時～
午後4時30分
☎（43）1323